

日韓航路の利用者、18年振りに50万人台まで減少

～令和元年度 日韓旅客定期航路輸送実績～

【概要】

旅客輸送人員57万4千人（前年度比58.2%減少）

九州（山口県下関市を含む）と韓国釜山を結ぶ旅客定期航路^{※1}の令和元年度の利用者は、7月以降、日韓関係の影響から、団体旅行客を中心にキャンセルが相次ぎ、全航路で日本人・韓国人利用者が減少、さらに、2月以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、全航路で運休又は旅客運送を停止した事もあり、前年度比80万人減（58.2%減）の57万4千人となりました。日韓航路の輸送実績が50万人台となったのは、平成13年度の56万4千人以来、18年振りです。

^{※1} 8社3区間、フェリー3隻・高速船7隻

国籍別

- 韓国人利用者は、76万2千人減少し、45万2千人となりました。
（前年度比62.8%減）
- 日本人利用者は、3万3千人減少し、10万4千人となりました。
（前年度比24.1%減）

航路別

- 博多～釜山航路は、16万8千人減少し、18万8千人となりました。
（前年度比47.3%減）
- 対馬～釜山航路は、54万4千人減少し、30万9千人となりました。同航路が減少したのは、新型インフルエンザが流行した平成21年以来、10年振りです。
（前年度比63.8%減）
- 下関～釜山航路は、8万5千人減少し、7万7千人となりました。
（前年度比52.6%減）

【 令和元年度 日韓旅客定期航路の旅客輸送実績 】

① 国籍別

国籍	輸送人員	前年度比	増減数
韓国人	45万2,345人	△62.8%	△76万2,392人
日本人	10万4,233人	△24.1%	△3万3,126人
その他	1万7,228人	△12.3%	△2,406人
合計	57万3,806人	△58.2%	△79万7,924人

② 航路別・国籍別

航路名	国籍	輸送人員	前年度比	増減数
博多～釜山	韓国人	9万2,674人	△59.8%	△13万7,898人
	日本人	8万2,768人	△26.4%	△2万9,654人
	その他	1万2,452人	△6.5%	△868人
	計	18万7,894人	△47.3%	△16万8,420人
対馬～釜山	韓国人	30万1,537人	△64.2%	△54万1,591人
	日本人	3,898人	△15.5%	△715人
	その他	3,418人	△33.4%	△1,711人
	計	30万8,853人	△63.8%	△54万4,017人
下関～釜山	韓国人	5万8,134人	△58.8%	△8万2,903人
	日本人	1万7,567人	△13.6%	△2,757人
	その他	1,358人	14.6%	173人
	計	7万7,059人	△52.6%	△8万5,487人
合計		57万3,806人	△58.2%	△79万7,924人

図1 年度別・国籍別 日韓旅客定期航路の輸送実績

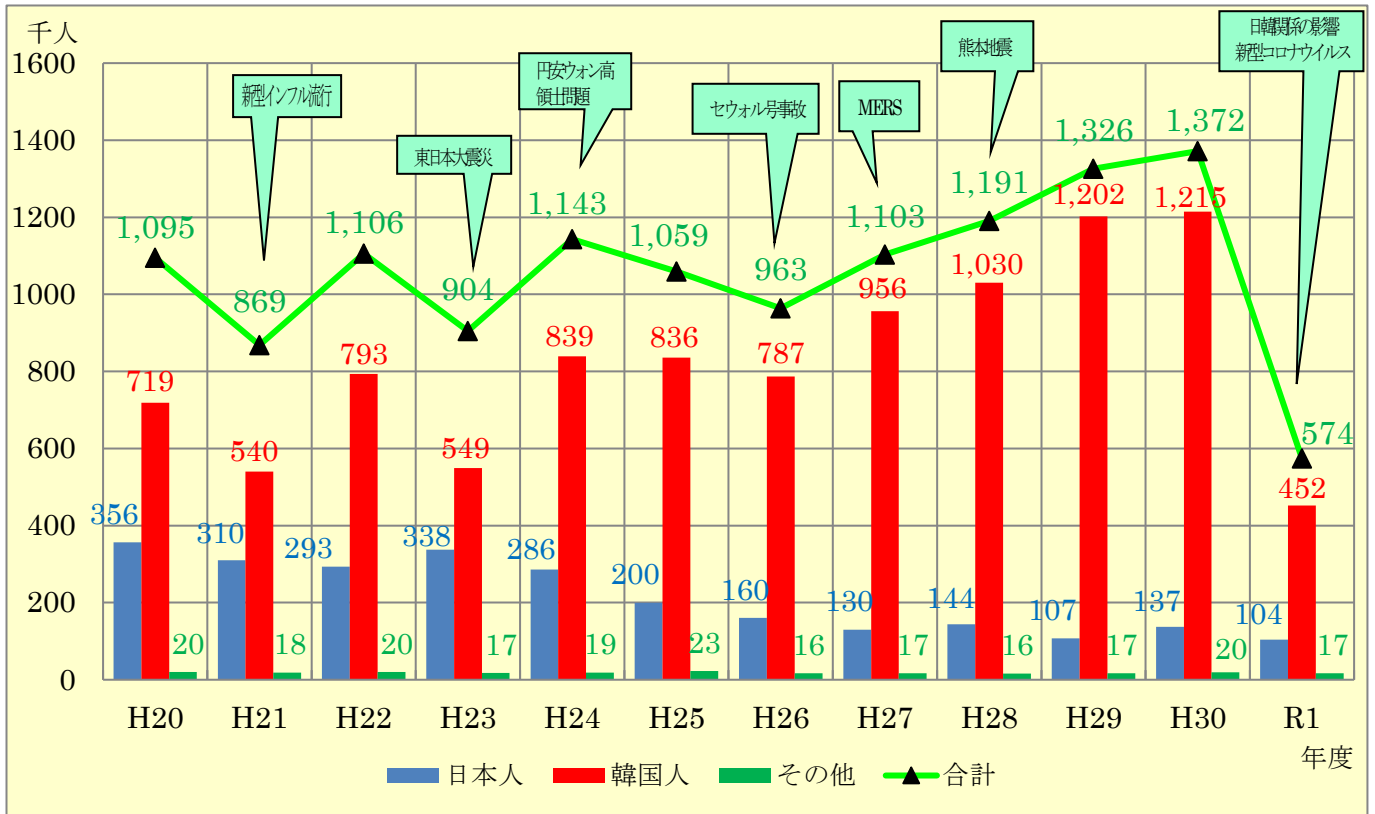
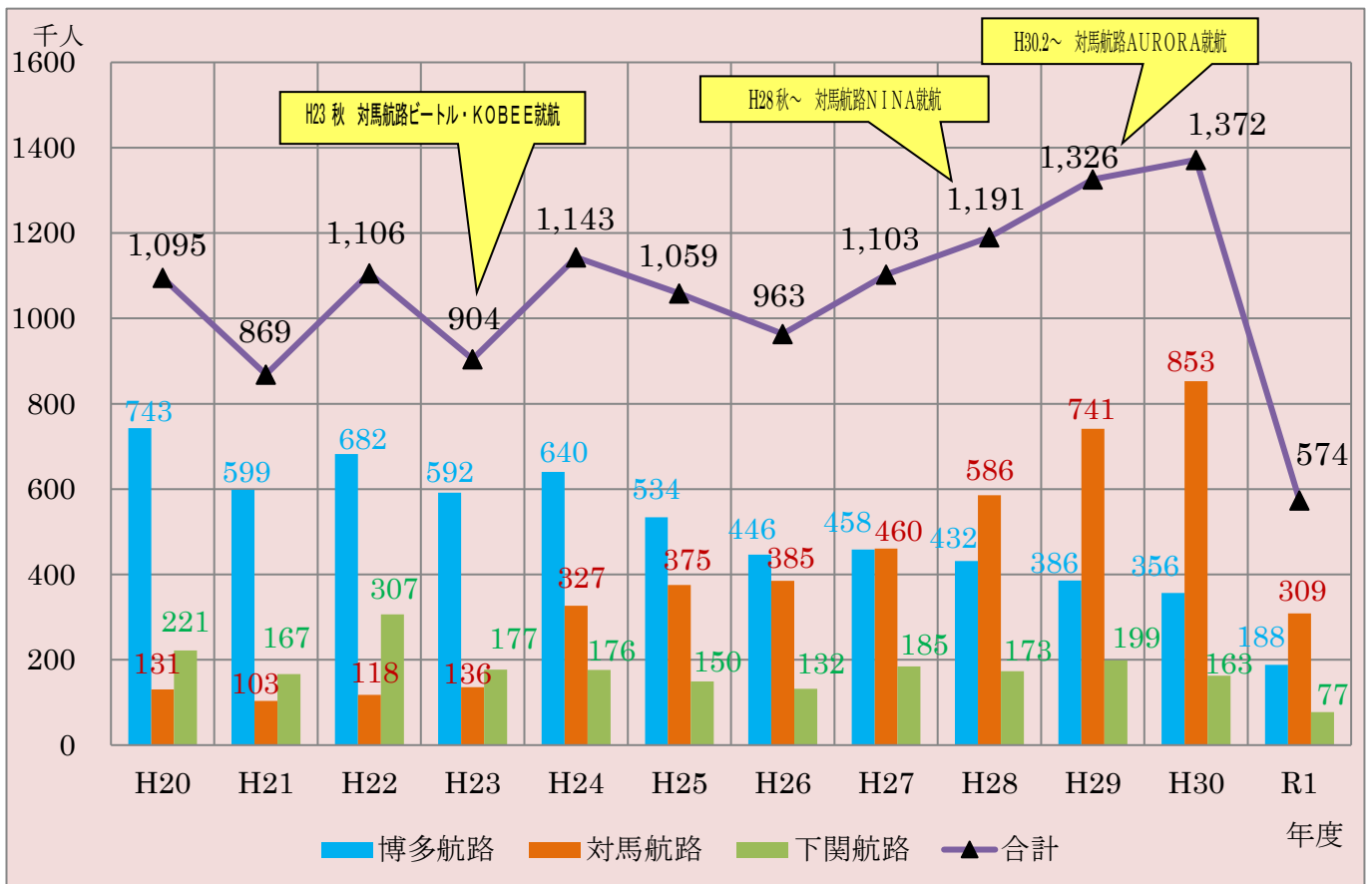
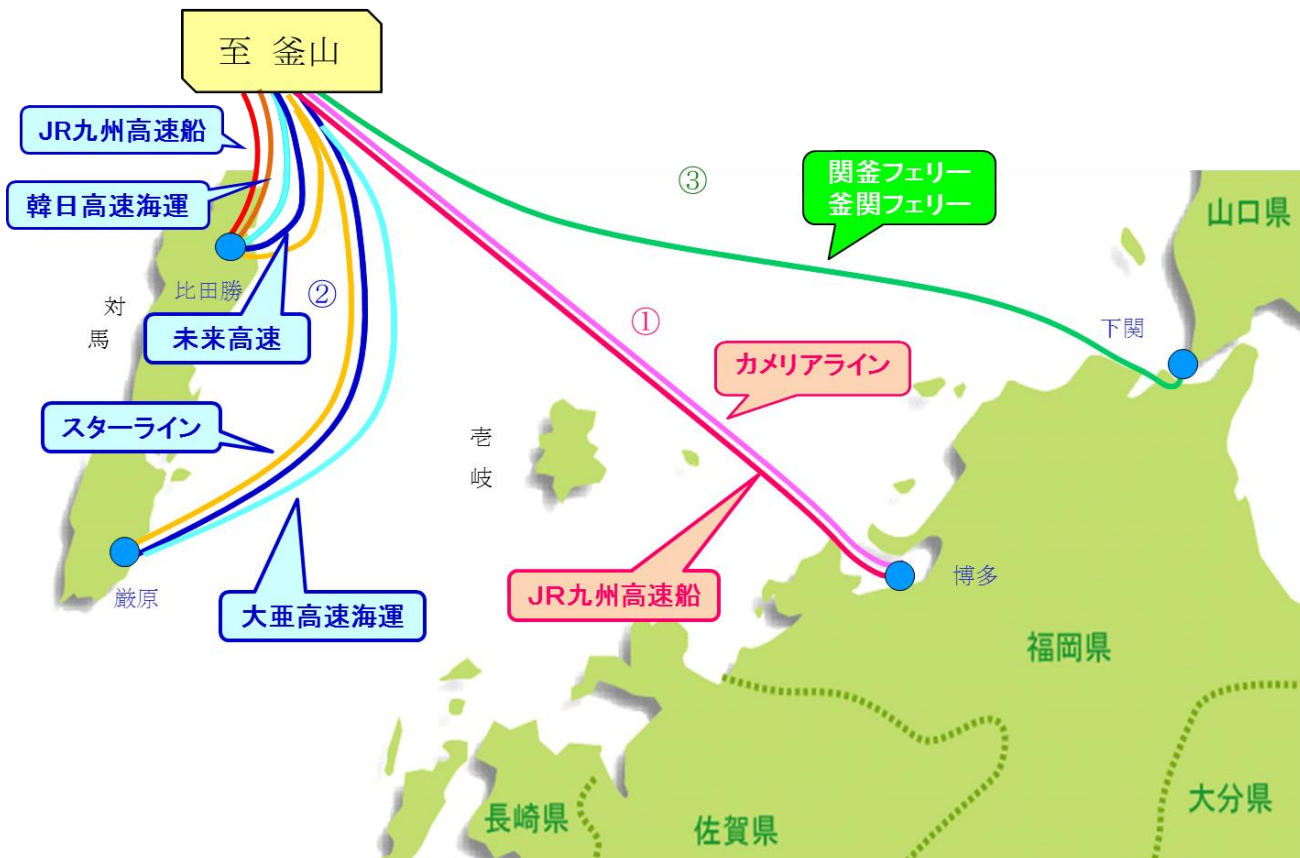


図2 年度別・航路別 日韓旅客定期航路の輸送実績



○航路図



○航路概要

令和2年4月1日現在

番号	航路	航路距離	所要時間	運航事業者	航路開設	船名	船種	総トン数	旅客定員
①	博多～釜山	213km	5:30	カメラライン(株)	H 2.12	ニューかめりあ	フェリー	*19,961	522
			3:05	JR九州高速船(株)	H 3. 3	ビートル	J F	164	191
						ビートル二世	J F	164	191
ビートル三世	J F	162	191						
②	対馬～釜山	比田勝 76km	比 1:10	JR九州高速船(株)	H23.10	*ビートル	J F	164	191
			厳原 131km	*未来高速(株)	H23.11	KOBEE V	J F	*259	200
								比 1:15 厳 2:10	*株大亜高速海運
		比 1:40	*株韓日高速海運	H30.2	AURORA	高速船	*436	319	
		比 1:30 厳 2:40	*株STAR LINE	H30.3	NINA	高速船	*553	440	
③	下関～釜山	228km	12:15	関釜フェリー(株)	S45. 6	はまゆう	フェリー	*16,187	460
				釜関フェリー(株)	S58. 5	星希 (スヒ)	フェリー	*16,875	562

※1 運航事業者に「*」が付されているものは、外国船社

※2 船名に「*」が付されているものは、再掲

※3 船種の「J F」は、ジェットフォイル

※4 総トン数欄の「*」は国際総トン数を表示